

タイトル	「食に関する意識」についてのアンケート
概要	<p>今年度第4次東大阪市食育推進計画を策定するにあたり、今後計画をすすめ、具体的な施策につなげられるよう、市民の食に関する意識を調査するためのアンケートです。</p> <p>問17を回答される際は以下のリンクを参考にしてください。</p> <p>東大阪の郷土食について([https://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000001910.html])</p>


対象者：300人 有効回答数：238人 回答率：79.3%

1. 会員番号を入力してください。
(会員番号はメール本文に記載しています)
(必須。4文字以内。半角英数(記号))

2. 性別を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%
男性	104人	43.7%
女性	134人	56.3%


女性 56.3%
男性 43.7%



3. 年齢を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%
10代	1人	0.4%
20代	28人	11.8%
30代	44人	18.5%
40代	53人	22.3%
50代	46人	19.3%
60代	43人	18.1%
70代	19人	8.0%
80代以上	4人	1.7%


40代 22.3%
50代 19.3%
30代 18.5%
60代 18.1%
20代 11.8%
上記以外の回答 10.1%



4. 世帯構成を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%
単身世帯(一人暮らし)	21人	8.8%
夫婦のみ	57人	23.9%
二世世代家族(親と子など)	148人	62.2%
三世世代家族(祖父母と親と子どもなど)	9人	3.8%
親族以外と同居	1人	0.4%
その他	2人	0.8%


二世世代家族(親と子など) 62.2%
夫婦のみ 23.9%
単身世帯(一人暮らし) 8.8%
三世世代家族(祖父母と親と子どもなど) 3.8%
その他 0.8%
親族以外と同居 0.4%



5. 職業を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%
自営業主またはその家族従事者(商工・サービス業・建設業・農業など)	18人	7.6%
自由業者(医師・弁護士・芸術家など)	3人	1.3%
民間の会社・団体の勤め人(庶務・経理・事務などに従事)	61人	25.6%
民間の会社・団体の勤め人(作業・運転などに従事)	30人	12.6%
その他の有業者(パート・アルバイトなど)	40人	16.8%
学生	10人	4.2%
家事従事者	48人	20.2%
無職(学生・家事従事者以外の無職)	28人	11.8%

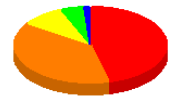
民間の会社・団体の勤め人(庶務・経理・事務などに従事) 25.6%
家事従事者 20.2%
その他の有業者(パート・アルバイトなど) 16.8%
民間の会社・団体の勤め人(作業・運転などに従事) 12.6%
無職(学生・家事従事者以外の無職) 11.8%
上記以外の回答 13.0%



6. 食育に関心がありますか。

*食育とは、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるもの。(食育基本法より抜粋)
(必須)

回答	選択人数	%
関心がある	110人	46.2%
どちらかといえば関心がある	91人	38.2%
どちらかといえば関心がない	22人	9.2%
関心がない	12人	5.0%
わからない	3人	1.3%



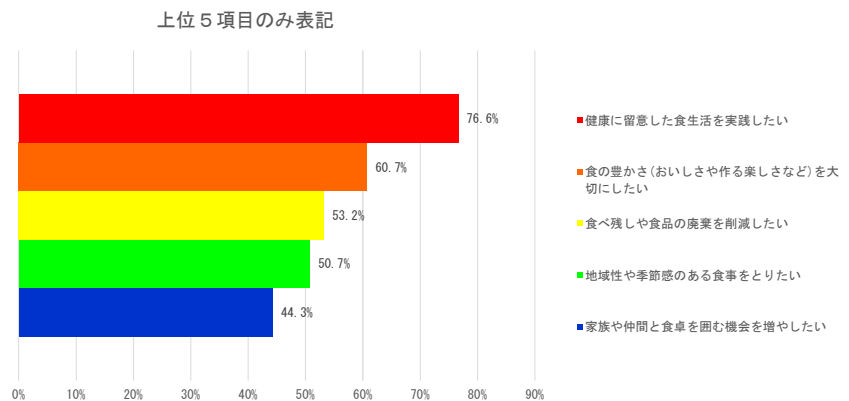
食育に「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」と回答された方が84.4%と、食育に関心がある方が多いことが分かります。

7. 問6で「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と回答された方に質問です。

今、関心のある食育や、今後、力をいれていきたい食育はなんですか。

(複数回答可) (10個以内)

回答	選択人数	%
家族や仲間と食卓を囲む機会を増やしたい	89人	44.3%
健康に留意した食生活を実践したい	154人	76.6%
食の豊かさ(おいしさや作る楽しさなど)を大切にしたい	122人	60.7%
地域性や季節感のある食事をとりたい	102人	50.7%
食文化や食事の作法などを伝承していきたい	48人	23.9%
食べ残しや食品の廃棄を削減したい	107人	53.2%
野菜等の栽培や収穫等の体験をしたい	60人	29.9%
食品表示や食品の安全性についての知識を習得したい	84人	41.8%
災害時のために食の備えをしたい	60人	29.9%
その他	1人	0.5%



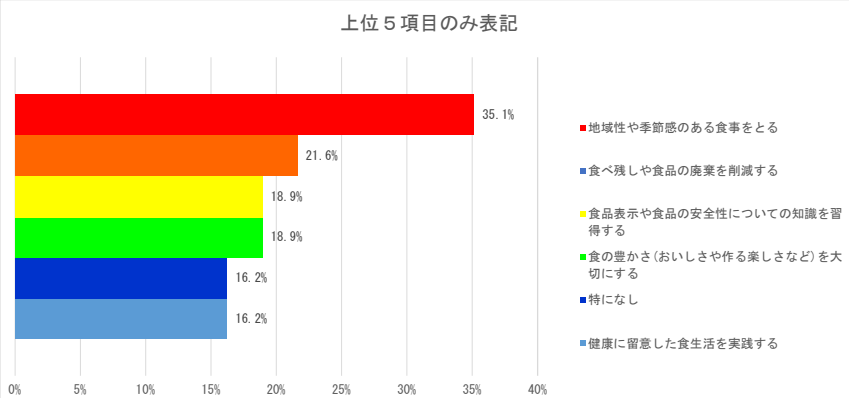
食育に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答された方のうち、「健康」に関心のある方が最も多く、「食の豊かさを大切にしたい」、「食べ残しや食品の廃棄を削減したい」、「地域性や季節感のある食事をとりたい」という方が半数を超えていました。

8. 問6で「どちらかといえば関心がない」、「関心がない」、「わからない」と回答された方に質問です。

どのような食育であれば関心を持てますか。

(複数回答可) (9個以内)

回答	選択人数	%
家族や仲間と食卓を囲む機会を増やす	5人	13.5%
健康に留意した食生活を実践する	6人	16.2%
食の豊かさ(おいしさや作る楽しさなど)を大切にしたい	7人	18.9%
地域性や季節感のある食事をとる	13人	35.1%
食文化や食事の作法などを伝承する	4人	10.8%
食べ残しや食品の廃棄を削減する	8人	21.6%
野菜等の栽培や収穫等の体験をする	5人	13.5%
食品表示や食品の安全性についての知識を習得する	7人	18.9%
災害時のために食の備えをする	5人	13.5%
特になし	6人	16.2%

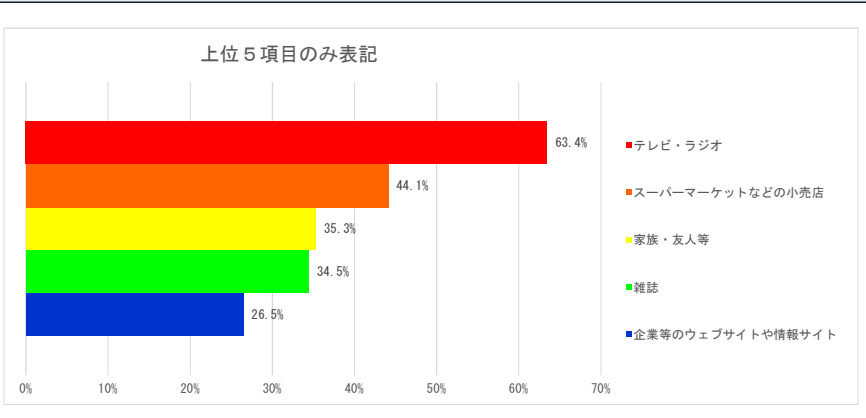


食育に「どちらかといえば関心がない」「関心がない」「わからない」と回答された方が、今後関心を持ってそうな食育は「地域性や季節感のある食事をとる」35.1%、「食べ残しや食品の廃棄を削減する」21.6%、「食品表示や食品の安全性についての知識を習得する」と「食の豊かさを大切にしたい」18.9%でした。食育に関心のある方と関心がない方ともに関心の高い項目は「食べ残しや食品の廃棄を削減する」と「食の豊かさを大切にしたい」であり、「関心がある」方は「健康」や「楽しくおいしい食事」、「関心がない」方は「地産地消」や「食品の安全性」と違いがみられました。

9. 食に関する情報をどこから得ていますか。

(複数回答可) (必須。11個以内)

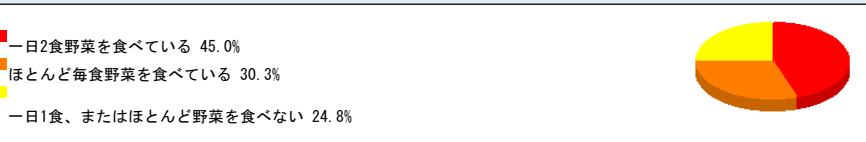
回答	選択人数	%
市ウェブサイト・YouTube・アプリ	44人	18.5%
保健センター・市役所等の行政機関	10人	4.2%
国の公式ウェブサイト・YouTube・アプリ	13人	5.5%
テレビ・ラジオ	151人	63.4%
雑誌	82人	34.5%
企業等のウェブサイトや情報サイト	63人	26.5%
医師や管理栄養士等の専門家のSNSやブログ	27人	11.3%
専門家以外のSNSやブログ	51人	21.4%
家族・友人等	84人	35.3%
スーパーマーケットなどの小売店	105人	44.1%
わからない	11人	4.6%
その他	8人	3.4%



食に関する情報源は、「テレビ・ラジオ」が63.4%と最も多く、「スーパーマーケットなどの小売店」が44.1%、「家族・友人等」が35.3%と続きました。市の媒体では、ウェブサイト等のオンライン上での情報取得が約2割、行政機関での取得は5%以下と低い状況であることが分かりました。

10. 野菜を毎食(一日3食)食べていますか。(漬物は除く) (必須)

回答	選択人数	%
ほとんど毎食野菜を食べている	72人	30.3%
一日2食野菜を食べている	107人	45.0%
一日1食、またはほとんど野菜を食べない	59人	24.8%



「一日1食、またはほとんど野菜を食べない」と回答された方は24.8%であり、約4人に1人があまり野菜を食べていない状況であることが分かりました。

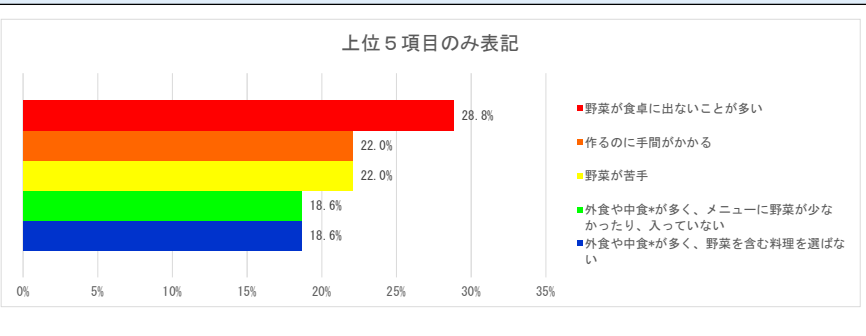
11. 問10で「一日1食、またはほとんど野菜を食べない」と回答された方に質問です。

野菜を食べない理由を教えてください。

* 中食とは、スーパーやコンビニなどで惣菜や弁当を買って、家で食べることを指します。

(複数回答可) (9個以内)

回答	選択人数	%
野菜が苦手	13人	22.0%
野菜が食卓に出ないことが多い	17人	28.8%
経済的に余裕がない	8人	13.6%
作るのに手間がかかる	13人	22.0%
家族が食べないので食卓に出さない	6人	10.2%
野菜料理を用意する時間がない	9人	15.3%
外食や中食*が多く、野菜を含む料理を選ばない	11人	18.6%
外食や中食*が多く、メニューに野菜が少なかったり、入っていない	11人	18.6%
その他	9人	15.3%



「一日1食、またはほとんど野菜を食べない」と回答された方の食べない理由は、「野菜が食卓に出ないことが多い」「作るのに手間がかかる」「野菜が苦手」が多くありました。野菜の簡単な調理法や野菜が苦手な人でも食べやすい工夫の普及や、外食や中食で野菜料理を選ぶことができる食環境の整備が必要であると感じました。

12. 1日に摂りたい野菜量は350g以上(いも・きのこ・海藻などを除く)であることをご存じですか。(必須)

回答	選択人数	%
知っている	118人	49.6%
知らなかった	120人	50.4%



1日に摂りたい野菜量を知っている方は約2人に1人であり、健康づくりのために必要な野菜の摂取量について普及の必要性を感じました。

13. あなたは普段野菜料理を1日に何皿分食べますか。

*1皿の野菜量は約70gです。生野菜では両手1杯分、加熱した野菜では片手1杯分です。

(必須)

回答	選択人数	%
5皿以上	9人	3.8%
4皿	9人	3.8%
3皿	45人	18.9%
2皿	95人	39.9%
1皿以下	80人	33.6%



1日の野菜の目標摂取量は5皿以上ですが、目標量に達している方は1割に満たない状況でした。また、問10で「ほとんど毎食野菜を食べている」と回答した人でも、5皿以上食べている人の割合は11.1%であり、「2~3皿」食べている人の割合が68.0%ととても高い結果でした。今の食生活にもっと野菜を取り入れていただくための普及啓発が重要であると認識しました。同時に、この設問に対し、「何皿という質問が答えにくい」というご意見をいただき、市民の方が食べている野菜量の実態が把握できるよう、設問の改善も必要であると感じました。

14. 現在、外食や中食は、どのくらいの頻度で利用しますか。

*中食とは、スーパーやコンビニなどで総菜や弁当を買って、家で食べることを。(必須)

回答	選択人数	%
ほぼ毎日	11人	4.6%
週に3~4日	28人	11.8%
週に1~2日	70人	29.4%
月に1~3回	68人	28.6%
月1回以下	27人	11.3%
ほとんど利用しない	34人	14.3%



外食や中食の利用頻度は、週1日以上と回答した方の割合が45.8%と半数近いという結果でした。

15. 外食や食品の購入をするとき、栄養成分(エネルギーやたんぱく質・食塩相当量等)の表示を参考にしますか。(必須)

回答	選択人数	%
いつも参考にする	43人	18.1%
ときどき参考にする	83人	34.9%
ほとんど参考にしない	108人	45.4%
栄養成分の表示について知らない	4人	1.7%

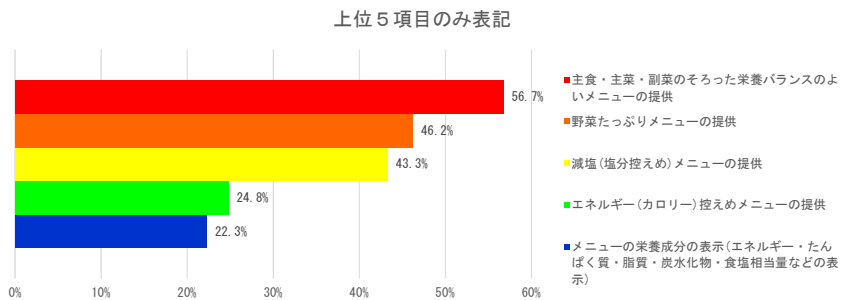


市の健康増進計画では、生活習慣病予防を目的に、栄養成分表示の積極的な活用を推進していますが、今回の結果では、「ほとんど参考にしない」方の割合が半数近く、また栄養成分表示を知らない市民の方がいる状況でした。栄養成分表示に関する積極的な啓発活動が必要であると感じました。

16. 外食や中食を利用する時に、栄養に関して、飲食店や販売店に希望することを教えてください。

(複数回答可) (必須。6個以内)

回答	選択人数	%
野菜たっぷりメニューの提供	110人	46.2%
減塩(塩分控えめ)メニューの提供	103人	43.3%
エネルギー(カロリー)控えめメニューの提供	59人	24.8%
主食・主菜・副菜のそろった栄養バランスのよいメニューの提供	135人	56.7%
メニューの栄養成分の表示(エネルギー・たんぱく質・脂質・炭水化物・食塩相当量などの表示)	53人	22.3%
栄養や健康づくりに関する情報提供	41人	17.2%
特になし	36人	15.1%



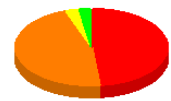
健康情報の提供を希望する方よりも、健康的なメニューの提供を希望する方の割合が多いという結果でした。中でも、「主食・主菜・副菜のそろった栄養バランスのよいメニューの提供」を希望する人の割合が高いことが分かりました。

17. 東大阪市の伝統料理を知っていますか。

ご回答の際はアンケート冒頭に記載のリンク「東大阪の郷土食について」を参考にしてください。(必須)

回答	選択人数	%
東大阪市出身であり、知っている	7人	2.9%
東大阪市出身であるが、知らない	110人	46.2%
東大阪市出身ではないが、知っている	6人	2.5%
東大阪市出身ではなく、知らない	115人	48.3%

東大阪市出身ではなく、知らない 48.3%
東大阪市出身であるが、知らない 46.2%
東大阪市出身であり、知っている 2.9%
東大阪市出身ではないが、知っている 2.5%



出身の有無に関わらず、知っている方の割合が5.4%であり、認知度が低いことが分かりました。

18. 食品ロス(本来食べられる食品を廃棄すること)削減のために何か行動をしていますか。(食べ残しをしないようにする、食べきれない分だけ購入するなど) (必須)

回答	選択人数	%
している	187人	78.6%
していない	51人	21.4%

している 78.6%
していない 21.4%



食品ロス削減のために行動している方の割合は78.6%ということが分かりました。

19. 田植えや稲刈り、野菜の栽培や収穫などを体験したことがありますか。(必須)

回答	選択人数	%
ある	148人	62.2%
ない	90人	37.8%

ある 62.2%
ない 37.8%



過去に栽培や収穫体験したことが「ある」と回答した方の割合が約6割であることが分かりました。

20. 今回のアンケート内容についてご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。（1000文字以内）
回答（抜粋・一部要約） 回答数：66
食の事を改めて考えさせる質問が多かったです。
今回のアンケート調査の狙いがもうひとつよくわからなかった。住民の健康保全なのか、地域の食産業の活性化なのか、菜園の推進なのか、等々。
食育に関しては特に自身が病気にかったことや子育てをし始めたことをきっかけにとっても関心のあるテーマとなったので東大阪市ももっと食育に関して積極的に取り組んでいただけたらととても嬉しいです。
栄養関係の学校に通っているため、食育にはとても関心があります。忙しい毎日の中で、毎食栄養バランスを考えた料理を作るのはとても大変なので、外食や中食を利用することになるが、そうするとやはり塩分が多くなったり野菜の摂取が少なくなってしまうので難しいと感じています。食べたものによって私達の身体は作られているので、もっと市をあげて、国を挙げて食育活動が進んでくれれば良いと思います。
私は東大阪でも生駒山側に住んでいますが、田んぼが多いので、幼稚園、小学校、地域の農家さんとスクラムを組んで収穫体験や、芋掘りなどを市が連携のサポートをし、食育や名産物についての教育をしてほしい。
コンビニ等の食品廃棄を見ると胸が痛みます。子ども食堂等への融通は出来ないのでしょうか。。
6人に1人の子どもが貧困だと聞いています。成長期の子どものため食事はとても大切です。東大阪市の給食は子どもの成長にとって理想的でしょうか？。ぜひ、地産地消で豊かな給食を子どもたちに提供してください。
季節ごとに旬の野菜、果物があるので収穫体験やその時の旬のメニュー等を味わう(体験)事を意識しています。
東大阪でも農作物体験ができるようになれば、たくさんの人に興味を持ってもらい、食に対する気持ちが変わるのではないかと思います。
野菜の種類別に美味しく食べる方法を知りたい。
東大阪市の伝統食については全然知らなかったもので、これから調べてみたいと思う。私自身、農業に従事しているので、東大阪市内で作られている野菜が消費者にどのように受け入れられているか興味がある。東大阪は現在は「町工場の街」とされているが、昭和30年以前は田畑ばかりの所だったので、市民に野菜の消費や地産地消についてどう考えているかを聞くアンケートは非常に有意義だと考える。
賞味期限が切れた食材をどうすればよいかの対応を分かりやすく教えていただければ幸いです。
野菜を多く取ったり減塩は自分の意識で変えられるが、食品添加物については外食中食、加工品等よくわからないので添加物の名称やどのような害があるのか知りたい。
東大阪の郷土食について考えたことが無かったです。リンク参照させていただきました。一度作ってみます。
食育についてアスマイル等でもっと発信してほしい。市政だより等で発信しては、いかがですか。

※「%」は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値に誤差が生じる場合があります。

<p>【総括】</p> <p>今回のアンケートは、令和4年度から推進する第4次東大阪市食育推進計画の策定及び第2次東大阪市健康増進計画（健康トライ21（第2次））の推進のための基礎資料を得ることを目的として実施いたしました。</p> <p>関心のある食育について問う質問では、食育に関心の高い方では、“健康”や“食の豊かさ”、“食品ロス”、“地域性や季節感のある食事をとる”に関心が強く、食育を広く普及啓発するためにニーズを把握できたことを嬉しく思います。食に関する情報を得ている媒体では、市の広報媒体は利用度が低く、情報発信に力を入れていく必要があることを再認識しました。食育における健康づくり分野では、“野菜を欠食しない人を減らす”取組を進めていますが、今回の調査で、野菜を食べない理由について、野菜料理を作ることに負担を感じる人の割合が多かったことなど、実際の状況を知ることができ参考になりました。また、健康づくりのための食環境整備事業として、栄養成分表示を行う飲食店を増やす取組を行っています。ヘルシーメニューの提供に対するニーズが高いことを踏まえて、事業内容を検討する上で参考にさせていただきます。</p> <p>今回、アンケートの目的が伝わりづらいという旨のご意見もいただきました。食育は健康づくり分野を始めとして、環境や食の安全性、農に関する分野など多岐に渡るため、分かりづらいアンケートになってしまいました。今後、詳しく調査したい内容と質問数を精査の上、分かりやすいアンケートとなるよう改善していきたいと考えます。</p> <p>今回の調査では、市政モニターの方々の食育に関する率直なご意見を聞くことができ、とても有意義な調査となりました。ご協力いただきありがとうございました。</p>
--